

日本心理学会第87回大会公募シンポジウム
(宗教心理学研究会第20回研究発表会)
神学・宗学は実証的宗教心理学と
連携・協働することができるのか
－実証的宗教心理学の挑戦(2)－

伝統仏教教団における 心理学研究の可能性

浄土真宗本願寺派高善寺
武田正文



武田正文

- 浄土真宗本願寺派高善寺（島根県）
- 臨床心理士、公認心理師
- スクールカウンセラー
- お坊さんユーチューバー



本願寺新報

hongwanji journal

1月16日(月曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都府下区西堀+清水町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501 本願寺出版部内

電話 075-370-0470(FAX) / 14825-0410(775)

新しい「領解文」

ご門主がご満座

号外

「西暦は一月16日、浄土真宗報恩法要
を境にされ、み教えの肝要が広く、
新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え

新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)

本年三月には、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗
八百周年慶讃法要」という記念すべき、縁縁をお迎えいたし
ます。このたびの慶讃法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩
に深く感謝し、同じお念仏の道を行む者同士が、あらため
て同慶の喜びを分かち合うための法要です。また、これ
を機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親
しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗と
のご縁を結んでいただきたいと思います。

伝道教団を標榜する私たちにとって、真実信心を止し、
わかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもあ
りませんが、そのためには時代状況や人々の意識に合わせた
伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかねばなりません。
そんなような願いをこめ、令和三年・二〇二二年の立

南無阿彌陀仏

「われにまかせよ
私の煩惱と仏のま
「そのまま教つ」と
ありがとう」とい
この感謝をまがす
救い取られる。自
仏國報謝の おま

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法灯を伝承された
新しいお教えに、よ

「新しい領解文」 騒動

浄土真宗本願寺派の概要

- 宗祖 親鸞聖人
 - 本願 西本願寺
 - 本尊 阿弥陀如来
 - 僧侶数31,546名
 - 寺院数10,106ヶ寺
 - (2021年4月1日現在)
-

浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺(西本願寺)

親鸞聖人御誕生850年
立教開宗800年 慶讃法要

法要期日 2023(令和5)年

第1期	3月29日(水)~4月3日(月)6日間
第2期	4月10日(月)~4月15日(土)6日間
第3期	4月24日(月)~4月29日(土)6日間
第4期	5月6日(土)~5月11日(木)6日間
第5期	5月16日(火)~5月21日(日)6日間



浄土真宗の教章

- ・ 教義

阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還えって人々を教化する。

The screenshot shows the website for Jōdo Shinshū Honan-ji-ha. The page title is '浄土真宗の教章 (私の歩む道)'. The main content is a table with the following information:

しゅうめい 宗名	じょうとしんしゅう 浄土真宗
しゅうそ かいせん 宗祖(ご開山)	しんらんしょうにん 親鸞聖人 ご誕生1173年5月21日 (承安3年4月1日) ご往生1263年1月16日 (弘長2年11月28日)
しゅうは 宗派	じょうとしんしゅうほんがんにほ 浄土真宗本願寺派
ほんざん 本山	りゅうごくざんほんがんじ にしほんがんじ 龍谷山本願寺 (西本願寺)
ほんぞん 本尊	あみたによらい なもあみたぶつ 阿弥陀如来 (南無阿弥陀仏)

Additional elements on the page include a navigation menu with '浄土真宗の教章 | 組織概要 | 宗門法規', a sidebar with '教え入門！人生のヒント！', '地域活動・ボランティア', '公開講座・イベント', and '仏事・行事 Q & A', and a footer with 'お西さん (西本願寺)' and '西本願寺 参る・知る・観るはこちら'.

よくある 僧侶の人生

- お寺の長男に生まれる
 - お寺は嫌だと反発する
 - 龍谷大学真宗学科
 - 中央仏教学院
 - 勤式指導所：儀礼のトレーニング
 - 伝道院（布教使）：法話のトレーニング
-



新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といただいて

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

宗祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗主の

尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

実際にこれを読んだ人が
どう理解し、どう感じるのか？

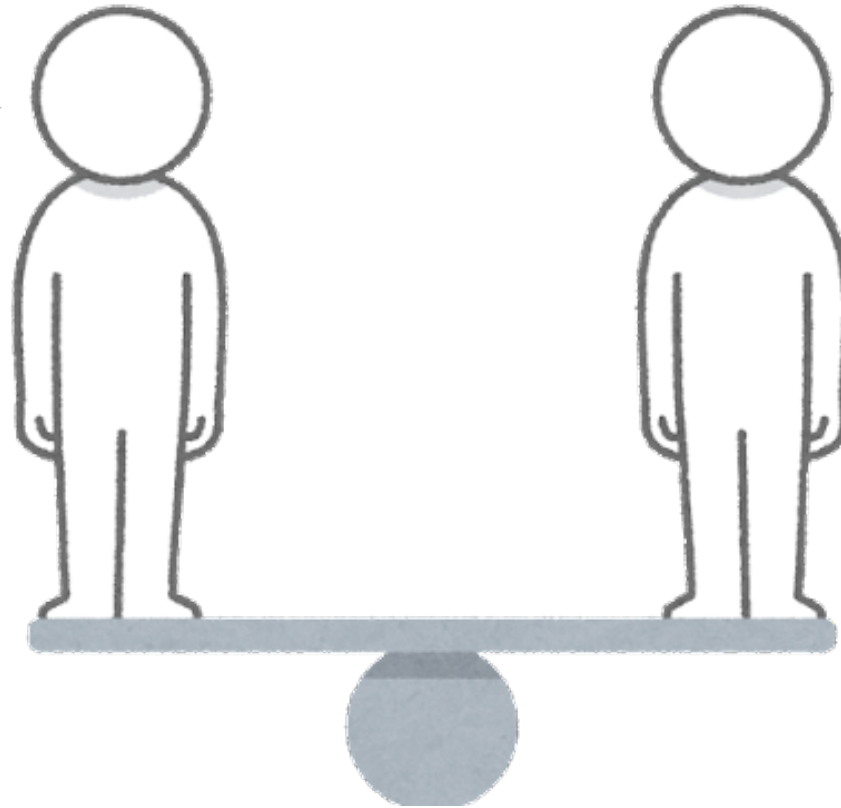
対話できるのか？

宗学

実証的
宗教心
理学

本質とは何か？

目の前で起きて
いることは何
か？



可能性と課題

- 伝統教団の形骸化を止めることができる？
- 既存の調査（宗制基本調査11回）のブラッシュアップ
- 矛盾をどう乗り越えるのか？
 - 言葉の違い（ex自我）
 - 方法論の違和感（「測定はできない」という宗学、「机上の空論」という心理学）
- 宗学の裏付けとしての宗教心理学
 - 恣意的になるリスク
 - 「言語化できない」をどう乗り越えるか